

# 研修報告書

日 時 2020年12月5日(土) 13:00 ~ 15:00

参加人数 会員 26人 非会員 3人

講 座 CTG判読と対応  
～基礎から学ぶ～

講 師 香川 秀之氏  
独立行政法人労働者健康安全機構  
関東労災病院 副院長・産婦人科部長



## 内 容

プレテスト

胎児心拍数の制御機構

CTG(胎児心拍数陣痛図) モニタリングの意義と問題点

「胎児心拍数図の用語及び定義」2003(2013年改訂)

一過性徐脈の発生機序

低酸素状態に対する胎児の反応

分娩時胎児心拍数陣痛図の判読と助産師の対応

胎児心拍数波形の分類に基づく分娩時胎児管理の指針(2010年版)

産婦人科診療ガイドライン産科編2020 CQ410 CQ411

産科医療補償制度脳性麻痺事例の胎児心拍数陣痛図

波形パターンの判読と注意点 2014年1月

母体発熱・感染に対する胎児の反応

第8回産科医療補償制度再発防止に関する報告書

胎児心拍数陣痛図の判読について 2018年3月

ポストテスト

## 参加者意見・感想

アンケート回答数21、受講者は全員助産師であった。

年代別では50代が57.1%と最も多かった。

研修を知ったきっかけは会員向けのチラシが71.4%と最も多かった。

満足度は「とても役立つ」「役立つ」を合わせて100%の満足度であった。

自由回答として、遅発一過性徐脈について誤解していたので理解ができて良かった。オンラインは参加しやすいが、紙の資料が欲しいとの意見があった。